

## 目 次

<b>第1章 I F関数と VLOOKUP 関数</b> .....	<b>1</b>
1-1 VLOOKUP 関数の概要.....	1
1-2 VLOOKUP 関数の「完全一致」検索.....	2
1-3 VLOOKUP 関数を挿入する.....	7
1-4 VLOOKUP 関数の「近似値」検索.....	18
1-5 「完全一致」検索と「近似値」検索のまとめ.....	24
1-6 I F 関数の概要.....	25
1-7 I F 関数.....	26
1-8 I F 関数を挿入する（関数を使わない場合）.....	30
1-9 I F 関数を挿入する（関数を使う場合）.....	37
1-10 I F 関数を挿入する（空欄なら空欄を返す場合）.....	47
<b>第2章 納品書作成</b> .....	<b>56</b>
2-1 均等割り付けを設定する.....	58
2-2 新しいシートを追加する.....	62
2-3 関数で今日の日付を挿入する（TODAY 関数）.....	71
2-4 日付の表示形式を変更する.....	75

**【テキストの画面環境】**

OS …………… Windows 7・8.1・10  
ソフト …………… Microsoft Excel 2010・2013・2016・2019  
解像度 …………… 1024×768

**【テキスト使用ファイル】**

2010



2013&2016&2019



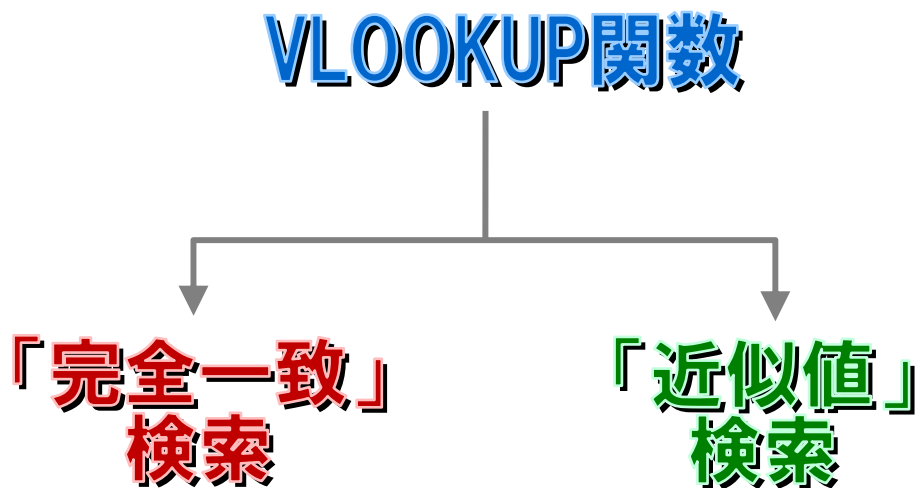
# 第1章 | F関数とVLOOKUP関数

本1章では、ビジネスでの実用性が高いIF（イフ）関数とVLOOKUP（ビルックアップ）関数について学びます。

## 1-1 VLOOKUP関数の概要

VLOOKUP（ビルックアップ）関数は、参照先の表から該当するデータを検索して表示する関数です。

VLOOKUP関数の検索方法には、使用する目的によって「**完全一致**」検索と「**近似値**」検索の2つがあり、設定方法も少し異なります。順に見ていきましょう。



VLOOKUP関数は  
目的によって、2種類の  
使い方があるんだ。



## 1-2 VLOOKUP 関数の「完全一致」検索

はじめに「**完全一致**」検索から見ていきます。

まずは、使用例を見てイメージをつかみましょう。

実際の操作はP.6以降で行っていきますので、ここでは軽く読み進めて、イメージをつかんでいただく程度で結構です。

例：下図のセルA3に [品番] (例：103) を入力したら、別シートに作成した表を検索して、[品番] に該当する [商品名] (例：ノート) を元シートのセルB3に表示したい。

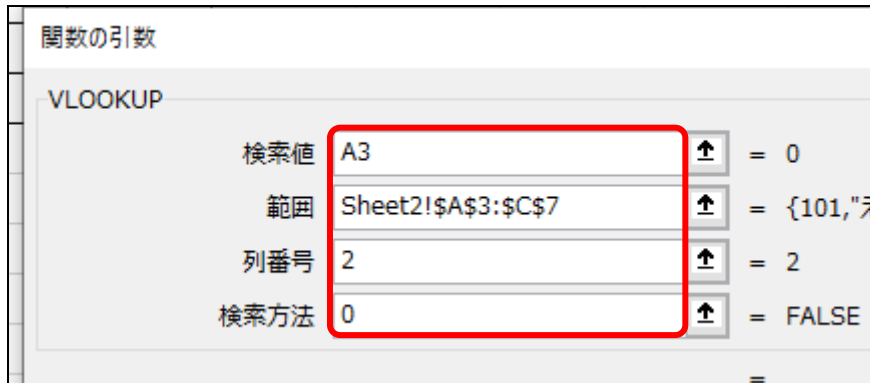
	A	B	C	D	E
1	文房具注文書				
2	品番	商品名	単価	数量	金額
3	103	ノート			
4					
5					
6					
7					
8					

	A	B	C
1	商品一覧		
2	品番	商品名	単価
3	101	えんぴつ	50
4	102	消しゴム	100
5	103	ノート	200
6	104	定規	150
7	105	下敷き	100
8			

別シートに作成した表→

上記のように、入力した品番などを別表で探して、**完全に一致**した値のデータを取り出すのが「**完全一致**」検索です。

この例では、セルB3に VLOOKUP 関数を次のように設定しています。

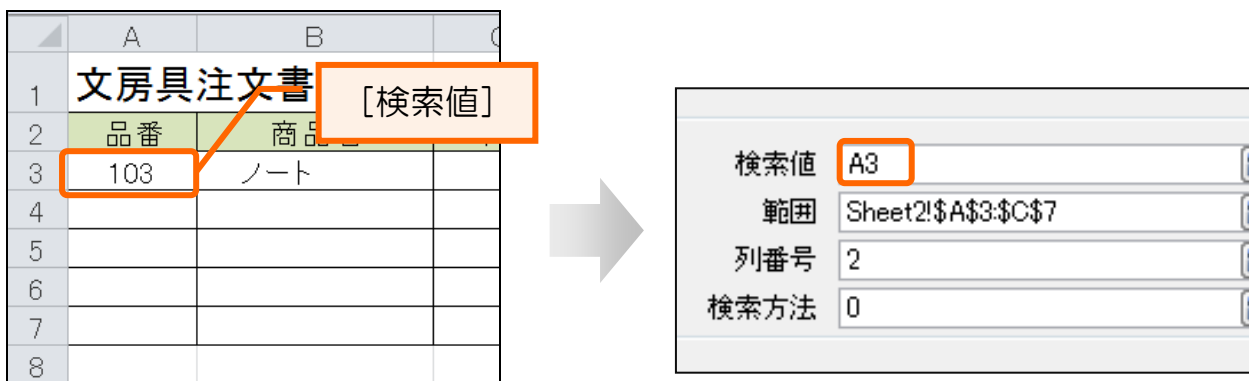


上図のように、VLOOKUP 関数では [検索値]、[範囲]、[列番号]、[検索方法] の4つの欄を設定します。

それぞれの欄を、さらに詳しく見ていきましょう。

## 1 [検索値]

[検索値] 欄は、検索元となる値を入力するセルを指定します。  
先の例では、元シートのセル A3 にあたります。



## 2 [範囲]

[範囲] 欄は、検索先の範囲を指定します。  
 先の例では、別シートのセル A3~C7 にあたります。

The image shows an Excel spreadsheet with a table titled "商品一覧" (Product List) and a dialog box for the [範囲] (Range) field.

	A	B	C
1	商品一覧		
2	品番	商品名	単価
3	101	えんぴつ	50
4	102	消しゴム	100
5	103	ノート	200
6	104	定規	150
7	105	下敷き	100
8			

The dialog box shows the following fields:

- 検索値 (Search Value): A3
- 範囲 (Range): Sheet2!\$A\$3:\$C\$7
- 列番号 (Column Number): 2
- 検索方法 (Search Method): 0

なお、VLOOKUP 関数は、数式を作成した後、その数式を下のセルにコピーする状況が多くあります。先の例もその1つです。(下図参照)

The image shows an Excel spreadsheet with a table titled "文房具注文書" (Stationery Order Form) and a red box with text.

	A	B	C	D	E
1	文房具注文書				
2	品番	商品名	単価	数量	金額
3	103	ノート			
4					
5					
6					
7					
8					

The red box contains the text: "数式を作成した後、下のセルにコピーする" (After creating the formula, copy it to the cell below).

この場合、コピーしても数式のセル範囲がずれないように、[範囲] 欄のセル範囲は絶対参照にしておく必要があります。

絶対参照にするには、セルを範囲選択した直後に [F4] キーを押します。絶対参照にするとセル範囲に「\$」がつきます。

The image shows a close-up of the [範囲] (Range) field in the dialog box, where the formula "Sheet2!\$A\$3:\$C\$7" is displayed. The dollar signs are highlighted with a red box.

### 3 [列番号]

[列番号] 欄は、[範囲] 欄で指定したセル範囲の左から何列目の値を表示するか指定します。

先の例では、2列目なので [2] と指定します。

	A	B	C
1	商品一覧		
2	品番	商品名	単価
3	101	えんぴつ	50
4	102	消しゴム	100
5	103	ノート	200
6	104	定規	150
7	105	下敷き	100
8			

検索値	A3
範囲	Sheet2!\$A\$3:\$C\$7
列番号	2
検索方法	0

### 4 [検索方法]

[検索方法] 欄は、「完全一致」検索の場合、「0」（数字のゼロ）を入力します。（なお、「0」の代わりに、「FALSE」と入力してもできます）

先の例では、「完全一致」検索なので「0」を入力しています。

検索値	A3
範囲	Sheet2!\$A\$3:\$C\$7
列番号	2
検索方法	0

では、次の項から実際に VLOOKUP 関数を練習していきましょう。

● 次の項の準備をする

- ① [Sheet1] に、下図のとおり表を作成しましょう。  
 ※文字の大きさや、列幅、セルの色などの書式は任意でかまいません。

	A	B	C	D	E
1	<b>文房具注文書</b>				
2	品番	商品名	単価	数量	金額
3					
4					
5					
6					
7					
8					

- ② 手順①で作成した表の次の空欄部分に、各書式を設定しましょう。
- A3~A7……中央揃え
  - B3~B7……インデント [1] 文字
- ③ 新しいシート [Sheet2] を追加しましょう。
- ④ [Sheet2] に、下図のとおり表を作成しましょう。  
 ※文字の大きさや、列幅、セルの色などの書式は任意でかまいません。

	A	B	C
1	<b>商品一覧</b>		
2	品番	商品名	単価
3	101	えんぴつ	50
4	102	消しゴム	100
5	103	ノート	200
6	104	定規	150
7	105	下敷き	100
8			

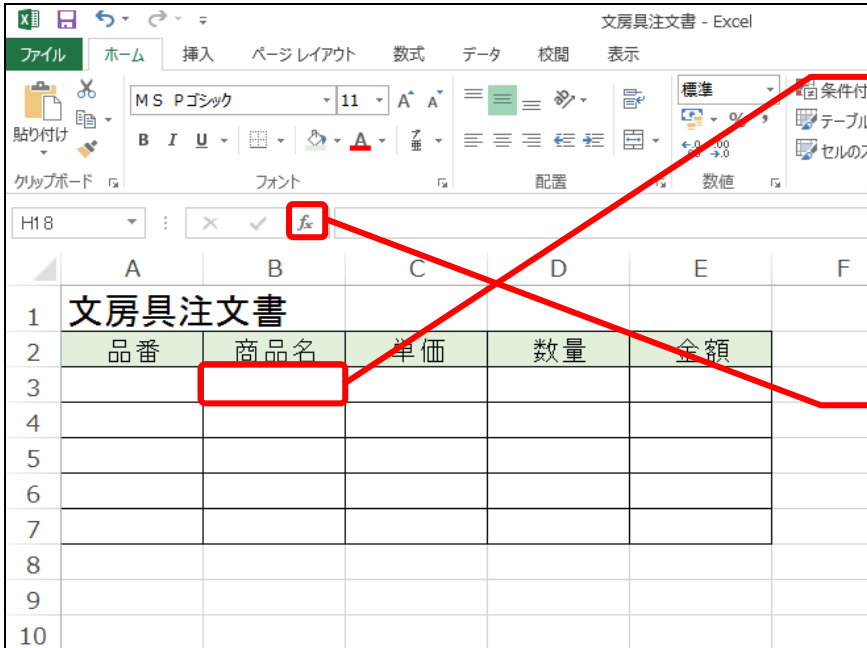
- ⑤ [Sheet1] を表示しましょう。
- ⑥ 「文房具注文書」と名前を付けて保存しましょう。




## 1-3 VLOOKUP 関数を挿入する

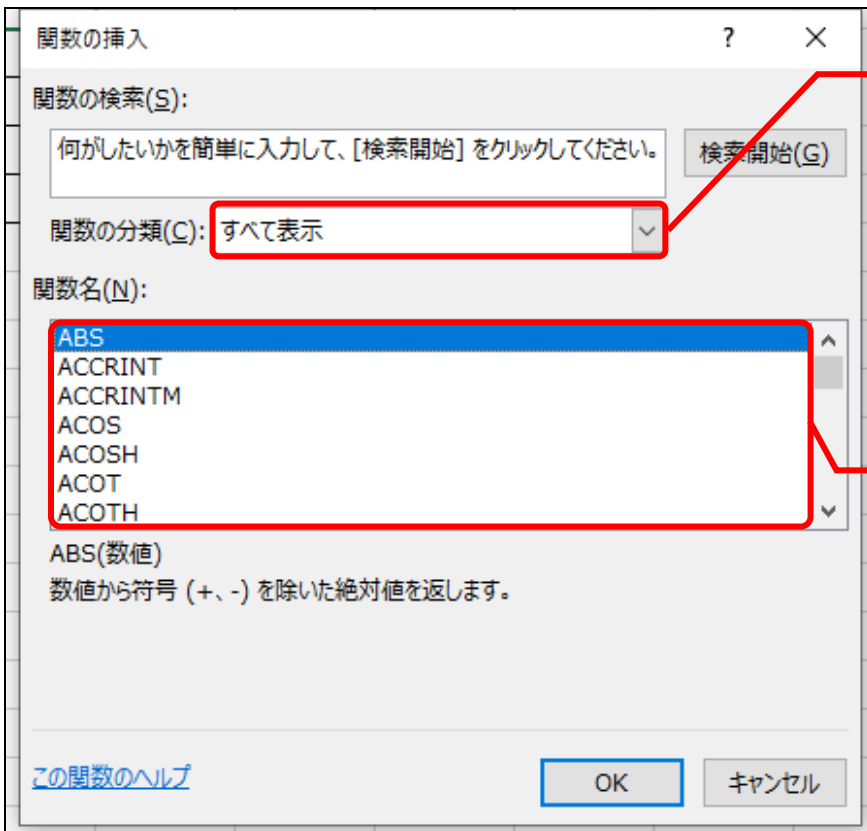
VLOOKUP 関数を挿入します。


品番を入力すると、商品名を表示するように VLOOKUP 関数を挿入してみましよう。



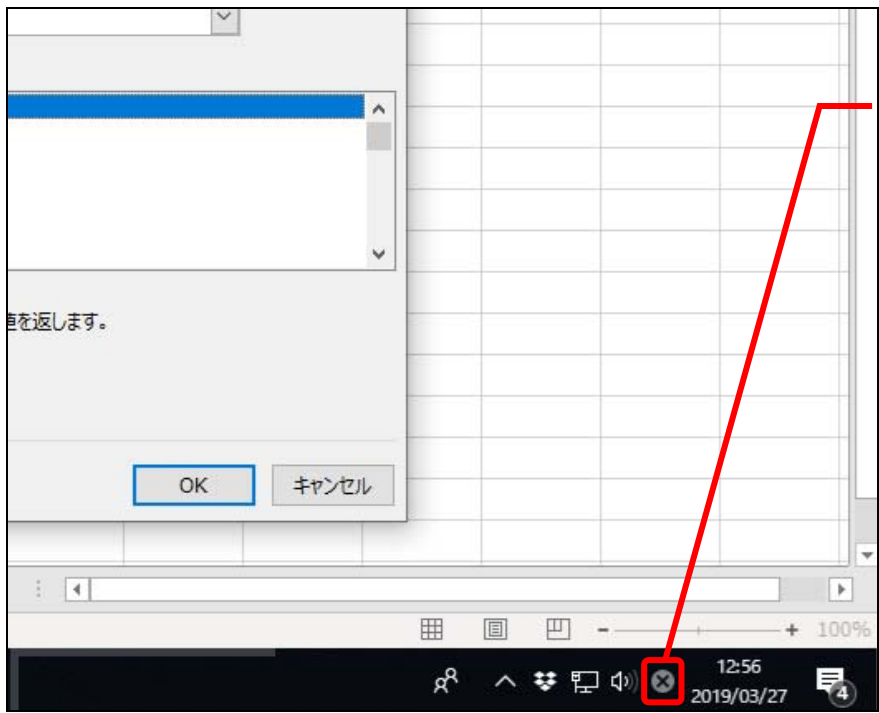
① 関数を挿入するセルを選択します。  
例：セル B3

②  [関数の挿入] をクリックします。



③  をクリックして、[すべて表示] を選択します。

④ [関数名] 欄内をクリックします。



⑤ 入力モードが  
[無効] の状態  
になったのを確認  
します。

※ 2010 の場合は、  
[半角英数] に  
します。



⑥ 挿入する関数の  
頭文字のキーを押  
します。  
例：[V] キー

※ 例の「V」は、  
VLOOKUP 関数の  
頭文字です。